

No.49
2011.4

いなみ町 議会だより

2011、4月7日・明るい声、元気いっぱいでもども園に入園

3月定例議会

23年度当初予算と新規事業クローズアップ(議案審議).....	P2~P4
一般質問「ここが聞きたい」4人が壇上.....	P5~P8
常任委員会報告と特別委員会報告.....	P9~P11
ジュニアバレー紹介・あとがき.....	P12

平成23年度一般会計予算 (総額48億871万円)

支出の主なもの

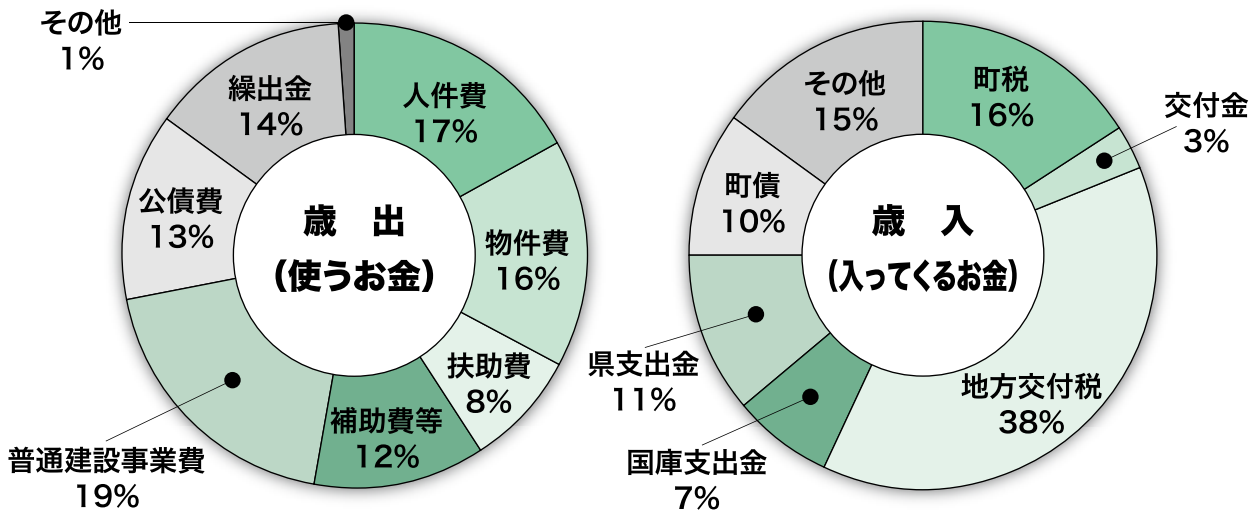
- ◎普通建設事業費
(地籍調査の費用など)
9億2,500万円
- ◎物件費
(施設の維持管理費など)
7億6,500万円
- ◎人件費
(職員の給与など)
8億円
- ◎繰出金
(特別会計などへの補填)
6億6,200万円

収入の主なもの

- ◎地方交付税
(国から町へ配布されるお金)
18億5,000万円
- ◎県支出金
(県が町に支払うお金)
5億1,300万円
- ◎町税
(皆さんに収めていただく税金)
7億9,500万円
- ◎町債
(町の借入金)
4億7,400万円

3月定例議会

議会は3月10日から18日まで開かれました。定例会初日に町長が「若者定住対策」を大きな柱として町内外の若者に印南町で住んでもらうように対応したいとして、「賃貸住宅等の家賃への費用助成」立ち上げなどを表明しました。今議会では、平成23年度の予算を中心に30議案を審議し、原案どおり可決しました。一般質問は4人の議員が登壇しました。



会計別当初予算の総額 83億円

会計名	予算額	前年度比	採決の状況	
一般会計予算	48億0,871万円	100.8%	10対1で可決	
特別会計	国保	12億6,297万円	101.5%	全員賛成で可決
	後期高齢	2億1,474万円	96%	10対1で可決
	介護	9億1,335万円	115%	全員賛成で可決
	印南町水道	7億0,575万円	115%	全員賛成で可決
	滝ノ岡水道	1億2,661万円	174.3%	全員賛成で可決
	農業集落	7,547万円	75.7%	全員賛成で可決
	同和対策	824万円	74.9%	全員賛成で可決
	宅地造成	1億8,509万円	1,037.4%	全員賛成で可決
	合計	34億9,222万円		
総合計	83億0,093万円			

新規事業クローズアップ

平成23年度の予算の中にいろいろな新規事業が予定されています。
主な事業を紹介します。

新築住宅取得助成事業(平成23年10月から) 1,500万円

満16歳以上45歳未満を対象に、本町に登録して5年以上継続して居住する人に対し、住宅を新築、購入、改築した場合100万円の助成を行なう事業。5年間の試験事業。所得制限があります。(平成23年度は15件を計画しています)

賃借住宅家賃助成事業(平成23年10月から) 480万円

条件は上記と同様で民間経営の賃貸住宅に居住する若者世帯に対し、小学生までの子どものある世帯に月々2万円、夫婦世帯に1万5千円、単身世帯に1万円の家賃助成を行う事業。5年間の試験事業。所得制限があります。



① 若者定住賃借住宅等補助金480万円について説明をお願いします。

② 480万円の算定根拠ですが、現在町内のアパート戸数58戸、うち16歳以上45歳未満の方はほぼ40戸で、それを6ヶ月480万円と計算しております。

橋りょう点検調査 850万円

283橋のうち、本年度は、49橋を点検、調査する費用。

定するため、橋梁の点検、調査を実施します。
今年度は町道橋283橋のうち橋長50m以上の橋梁49橋の予定です。
平成25年度に長寿命化を作成計画し、平成26年度から橋梁の修繕架け替え工事等を予定しています。

③ 道路橋梁費の、橋梁点検の委託料が850万円となっておりますが、この内容が、この内容です。

④ 町道橋の長寿命化修繕計画を策



光川 本谷橋

① 清流小学校ですが、高圧受電設備が無いため、その費用が600万円程度見込んでおります。他の小学校には設備されております。

② ランチルーム空調等設備工事請負費で、清流小学校だけが倍ほど費用がかかっています。が内容を詳しく。

3小学校のランチルームへのクーラー設置

2,220万5千円

稲原、切目、清流の各小学校のランチルームへクーラーを設置する事業。

③ 若もの広場テニスコート整備事業について、今後、この印南町内のテニス競技大会が印南でできるのか、コートが4面なければ試合ができないと言われているが、これだけの事業をする中であると1面確保出来ないのですか。

若もの広場テニスコート芝生化整備事業

2,912万6千円

テニスコートを3面芝生化する事業。



「若もの広場」のテニスコート

④ 工事を予定しているのは、今ある3面コートをオムニ化する事です。そして、「なぜ4面にしないのか。」という点ですが、用地の関係もあり、3面あれば町内の中学校の大会も可能です。

その他主な議案

- ◎印南町長期総合計画基本構想の策定について
- ◎印南町若者定住促進条例の制定について
- ◎印南町民間活力利用型住宅建築条例の制定について
- ◎職員の給与に関する条例の一部改正について
- ◎公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について
- ◎印南町立幼稚園設置及び管理に関する条例の廃止について
- ◎印南町立保育所の設置及び管理に関する条例の廃止について
- ◎印南町保育の実施に関する条例の制定について
- ◎印南町認定こども園の長時間保育及び短時間保育の実施に関する条例の制定について

コミュニティバス運行委託料

850万円

町内の2ルート（切目川、稲原）でコミュニティバス（デマンドタクシー）の運行業務を「印南交通」に委託する事業、実施時期は未定。（平成23年度中）



若者定住促進対策について

藤 藤 藤 藤
利 利 利 利
広 広 広 広
議 議 議 議
員 員 員 員



宇杉ヶ丘団地町有地

質問 家賃助成及びアパート建設について、両事業の実施までのプロセス、手続や助成内容は。

答弁 総務課主幹 満16歳から45歳未満の若者世帯を対象に実施します。助成額は、月額上限1万円から2万円です。

アパート建設は、町内に賃貸住宅を営営しようとする事業者に対し、町有地を無償で貸与します場所は、宇杉ヶ丘団地の町有地です。

質問 100万円の助成について。

答弁 総務課主幹 町内に住居を持つていただくために、1,000万円以上を要した方に対して助成します。

質問 年齢制限の45歳未満という定義は。

答弁 総務課主幹 本町の転入・転出者数は45歳未満の人が80%を占めている事を考慮して、年齢制限を決定しました。全国的に取組んでいるところは30歳が標準となっております。

質問 宇杉ヶ丘団地の値下げについて。

答弁 建設課長 平成16年から売り出し、当初は順調に売れていたが現在71区画中26区画が残っています。値下げをすることで販売促進をはかります。

質問 値下げの金額について。

答弁 建設課長 固定資産税評価額の下落率等を基準として算定すると23%程度の値下げとなる見込みであります。

質問 先行取得されていた方は納得されていますか。

答弁 建設課長 出来るだけ早い時期に土地を購入された皆様には説明会を開く

つもりです。
※(詳しくは役場でお聞きください)



宇杉ヶ丘団地



一般質問

榎本 一平議員

**国民健康保険事業の
広域化は（各市町
村単位から県単位
へ）町にどのような
影響を及ぼすか。**

質問 昨年、国民健康保険法が改定をされ、国民健康保険事業が県単位の広域化へと制度が変えられようとしています。

厚労省が示した方向では国保の広域化を指し、平成25年3月から現在の「後期高齢者医療制度」を新しい医療制度へ移行、第2段階では、平成30年度から県単位の国保制度に完全に移ろうとしています。

当町はどのような影響を受けると考えられますか。

答弁 住民福祉課長

制度改革の法制化が進み、県単位による国

保の広域化に向かったとしても、県下平均では医療費が低く、保険税の収納が高いなど、比較的経営状況のよい当町が財政的に負担増加とならないように県当局に要求しています。



つれもて健診（食事調査）

真妻地区住民の生活支援に対する認識と対応をどう考えるか。

質問 第4次長期総合

計画では真妻地区の人

口、町全体の高齢化率、65歳以上の単身世帯数など、平成7年時点での数値が示されています。

真妻地区の人口と世帯数、高齢化率、そして65歳以上の単身世帯数は、第4次長期総合計画に示されている。平成7年時点からどのように変化していますか。

答弁 総務課長

人口は674人。平成7年に比べ370人の減少です。

世帯数は、平成7年より52世帯の減少で276世帯。高齢化率は平成7年当時28.7%で、平成23年3月現在では42.8%と非常に高い上昇です。単身世帯数は平成23年3月現在53世帯で真妻地区全体の17.7%を占めています。

質問 生活支援

や移動手段の確保についての認識と対応はどう考えていますか。

答弁 総務課長

真妻地区は、交通空白地域でなく路線バスが運行しており利便性は確保できています。真妻地域におけるデマンドタクシーの運行については認められません。

質問 今後、町内にデマ

ンドタクシーが運行されれば、真妻地区の住民が民間バスを利用した場合とでは、料金に大きな格差が生じます。

真妻地区の高齢者で年金ぐらしの住民に対し、民間バスの利用時の料金に対し、補助制度などが必要ではありません



か。

また、真妻地区から印南方面への移動について不便を訴える人が多数ありますが、デマンドタクシーと南海バスとの乗り継ぎができるように対策はとっていますか。

答弁 町長

デマンドタクシーと民間バスとの乗り継ぎについては十分配慮しています。

玄素町長 次期町長選に出馬表明!!

西山 徹議員



条件も整いつつあることから、次期町長選挙に立候補をいたしたいと考えますので、議員各位のご協力をお願い申し上げます。



「過疎化対策」

「ついで」

質問 町長は、新年度にむけて新しい施策を提案されていますが、地方紙の記事によりまずと、印南町区長会連絡協議会をはじめ、観光協会など各種団体から出馬要請が出されていると掲載されています。

来年2月に予定されている町長選に出馬される気持ちはありますか。

答弁 町長

印南町区長連絡協議会をはじめ各区や団体からの出馬要請をいただき、またその他の諸

質問 農業をはじめとする地場産業の衰退が懸念される中、地場産業の維持と活性化につなげるため、新規就業対策や新規起業対策などに基金の運用は考えられないのですか。

答弁 産業課長

農業における新規就農者への支援については、県を経由して利用する新規就農者定着事業、補助金400万円の補助率1/2の活用や、無利子の就農研修資金、限度額200万円の利用。

ハウス施設栽培設備及びトラクター等の農業機械の購入のための就農施設等資金、最高限度額3,700万円などの制度があります。

質問 過疎化が進むことで、地域のコミュニケーションの維持が困難となります。

後継者対策を積極的に考えていくべきと考えますがいかがですか。

答弁 産業課長

23年度計画しております農家農地台帳の充実を図り、農地農業施設を必要とする就農者に迅速に紹介できる農地利用集積事業の推進、また縁結び事業など、後継者対策に努めていきたい。



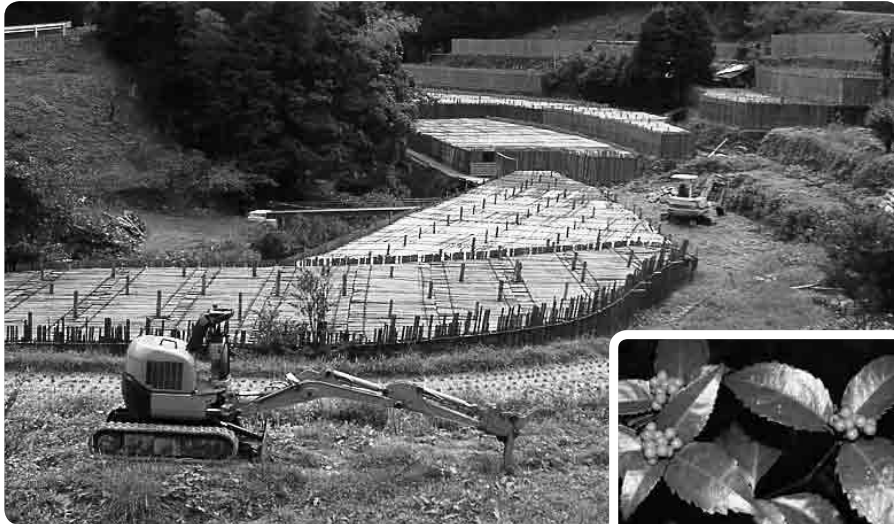
村上 誠八議員

農業振興について

中山間地域ブランド千両栽培衰退支援について

質問 町ブランド、千両栽培が衰退し、作付面積及び生産農家の減少が進み、10年後には現在の半分以下に落ちる可能性があります。正確な要因を調査して、行政的支援のほかに栽培維持を支援するための方便策はありますか。

答弁 産業課長 前年度より千両



真妻地区の千両施設

質問 河川改修後、町としては、ほ場整備の考えはないのですか。残地の埋め立ては

施設緊急事業を実施、今年度も地域活性化を目的に継続支援します。

質問 中山間高品質商品を失う事は町の損失です。衰退を防ぐ方便として、施設放棄地を賃貸等々で栽培してもらう「受け皿作り」は出来ませんか。

答弁 産業課長

本年度より農業委員会において農地農家台帳を作成します。放棄施設の農家を把握し、栽培希望者に紹介する方針です。

切目川河川改修跡地の有効活用方法について

質問 河川改修後、町としては、ほ場整備の考えはないのですか。残地の埋め立ては

出来るのですか。出来なければそのまま放置、据え置くのですか。

跡地活用について、どのように取り組むのですか。

答弁 産業課長

跡地面積は約2.5ha、県より払い下げ、町で埋立て農地活用する計画、用地提供者に優先払い下げ、農業振興に寄与出来るよう配慮します。

バイパス工事残土では出来ないが上流側の工事で残土が発生するので埋め立て活用できると考えています。

鳥獣害対策について

質問 狩猟免許維持経費の節減

対策等について、県や日高地方対策本部で有害鳥獣に対し狩猟制度と免許維持費用の軽減が出来ないのですか。

答弁 産業課長

費用の軽減につきましても、減額にならないのが現状です。



委員会活動報告

「総務文教常任委員会」

「印南町職員人事評価」「印南町庁舎の整備計画」の2点

人事評価は、評価すること自体が目的では



平成 23 年 2 月 22 日 総務課の説明を受ける。

(委員長所見)

評価することが目標ではなくて、評価することで見えてくる自分の強み、弱みを見つけることにより活力ある公務組織の実現に努めて貰いたい、人事評価は郡内でも遅れていましたが、形だけのものではなくて内容の伴ったものにして頂きたいと思っています。

また、庁舎新築は先般の 3.11 東日本大震災を受けて、計画よりも出来るだけ早い時期に実現させていきたいと思っています。

なく、職員一人ひとりが自ら保有する能力をどれだけ発揮したのか、また当初の目的をどのくらい達成できたのかを評価することにより、能力開発や人材育成を一層効果的に進めることを目的とする。

その結果を処遇に活用するものであり、処遇のために人事評価をするものではないとの説明であった。



「印南町庁舎別敷地へ新庁舎を新築」



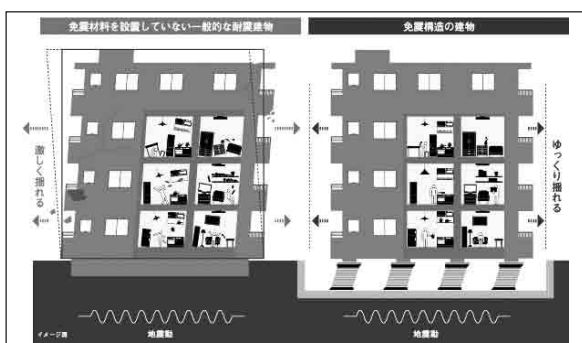
予定地「かえるの里」

- 庁舎の整備計画については 50 年先を見据えて次の 3 案を検討した。
- ① 既存庁舎を耐震補強改修する。
 - ② 既存庁舎を耐震補強及び改修し、防災センターを別敷地に新設する。
 - ③ 別敷地へ新庁舎を新築する。
- 結果、同敷地内では防災拠点としての機能が果たせないこともあり③案に決定しました。

新庁舎のコンセプト

「日本一やすい庁舎であること」町民にとつて分かりやすく、使いやすく、親しみやすい、開放的な庁舎とする。「日本一安全な庁舎であること」免震構造を採用する。

※揺れを小さくする効果のある免震装置を建築物に設置し、地震の影響を通常の 1/3 ～ 1/5 の程度にやわらげる構造



「厚生常任委員会」

「あおぎ園」視察研修

この度、障害者通所施設（就労継続支援事業B型）が印南町に4月開所に伴い作業種目等聞き、その後、作業の様子を視察させて頂きました。

「あおぎ園」は、平成18年9月1日に和歌山



ペットボトルのリサイクル作業

利用者の方のニーズにきめ細かい対応を行っています。施設は、廃校の有効活用で整備されています。作業種目として堆肥袋詰め・販売、梅塩袋詰め・販売、

県福祉事業団初の「通所授産施設」として日高川町に開所して、豊かな自然に囲まれたゆつたりとした環境のもと、福祉的就労の場として4年を迎えています。

一般就労に向けて多種多様な作業提供を行う中で、個人のスキルアップと就労前段階の能力開発のための通所施設として、

（委員長所見）

関係者の長年の悲願でありました。

"通所施設"開所を迎えるのにあたり、委員会として各種団体・企業を通して広域的に「就労支援」及び「ふれあいの場」の必要性を訴えてきました。

地域との交流の場を持ち、町を挙げて支援していく必要性を強く感じました。

縫製作業、内職（バリ取り・箱折り）、リサイクル作業、農作業と多種多様に亘って数多くの作業に取り組んでいます。その中でも堆肥の販売は一般価格よりも安価な価格が評判と成りつつあり、将来的にも販売量の増が期待されています。



平成23年1月25日園長より説明を受ける。
「梅塩袋詰め作業」



平成23年2月21日建設課の説明を受ける。

「産業建設常任委員会」

の現状

切目川河川改修について第1・2期工事として平成4年〜27年度まで汐止堤く楠本橋までの2千坪を改修する計画です。23年度はパイパス部分の護岸と水道補償の3億円の計画がされています。



切目川（名杭・高垣）

面はありません。認定町道の橋は283橋あります。耐震調査を平成23年から25年までの3年間で実施して、整備計画を立て、順次耐震補強をする計画がされています。

（委員長所見）

今後とも議会として、改修を求めています。

古屋川河川改修は切目川合流点から480メートルを改修する計画であり、平成17年から実施しています。23年度は護岸工事等4千万円の事業が計画されています。

その他、印南川・奈良井・柳畑川について、県に対しても、要望しています。23年度の計



古屋地区

「議会政策研究 特別委員会」

「第5次長期総合計画」

第4次計画の将来人口は1万人であったが、平成22年の国勢調査では、8,599人と計画を大きく下回りました。

平成21年に住民アンケート（回収率49.6%）をとりました。「印南町に暮らしたい」人は80.7%

ありましたが、「印南町に住んでいて誇りを感じることがある」との問いに「はい」と答えた人が62.8%もあり、町は重要な問題だと認識し

ています。

基本理念と

まちの将来像

「誇りあふれる郷」への架け橋をキヤッチフレーズとして基本計画を作成し、平成32年の将来目標人口を8,000人以上としています。

まちづくりの基本方針

将来像の実現に向け



平成23年2月21日総務課の説明を受ける。「冊子」

て基本方針を定めています。

① 健やかに安心して暮らせる郷

② 自然と調和した安全・快適な郷

③ いきいきと個性が発揮できる郷

④ 地域の魅力が輝く交流の郷

⑤ 次世代につなぐ郷

（委員長所見）

印南町議会政策研究特別委員会としては、長期総合計画についての指針がぶれない様に、パイプ役として、住民の声を聞かせていただきながら、取り組んでいきたいと考えています。

稲原ジュニアバレーボールクラブ



みんな仲良しの15名です。

チーム編成人数全員で15名です

- ・6年生6名
- ・5年生2名
- ・4年生3名
- ・3年生3名
- ・2年生1名

チームの紹介

学年に関係なく、みんな仲良しの15名です。バレーボールを通じて「あいさつのできる子」、「明るく元気な子」、「がまん強い子」を育てることを、目標に活動しています。

最近のチームの成績

- ・有田みかんカップバレー大会3位
- ・日高郡新人大会3位
- ・味の素アミノバイタルカップ（田辺市）ベスト4
- ・紀の国バレーボール交流大会（橋本市）

- ・ベスト4
- ・県バレーボール新人大会出場

これからの目標

まず、県大会での初戦突破が目標です。そして、一つずつ上を目指していき、近畿大会出場という、大きな夢を実現させたいです。

監督からの一言

元気に挨拶や返事が出来る子どもは、指導していても気持ちがいいものです。

まず、そこから、と考えています。

子ども達にはバレーボールというチームプレーを通じて、まわりへの思いやりや、一人では何も出来ないと言うことを、学んでもらえたら嬉しいですね。

チームメンバ、父兄、指導者がみんな支え合い一つになれば、チームも子ども達もより良い成長が出来ると思っています。

あとがき

東日本大震災で被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

新しい年度、より多くの方が積極的に議会の傍聴に参加いただき、町議会の活性化に一助いただきますようよろしく願いします。

広報特別委員会として、より分かりやすい内容での情報提供を目指して努力致します。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 榎本 一平 |
| 副委員長 | 玉置 克彦 |
| 委員 | 日裏 勝己 |
| | 杉谷 考祥 |
| | 岡本 庄三 |
| | 藤藪 利広 |

